

2. 商業店舗意向調査

[1]実施概要

香取市中心市街地(下図参照)に立地する商店の基本情報(業種・業態等)、主な顧客層等を把握するため、商店主へのアンケート調査を実施した。調査の実施概要は以下のとおりである。

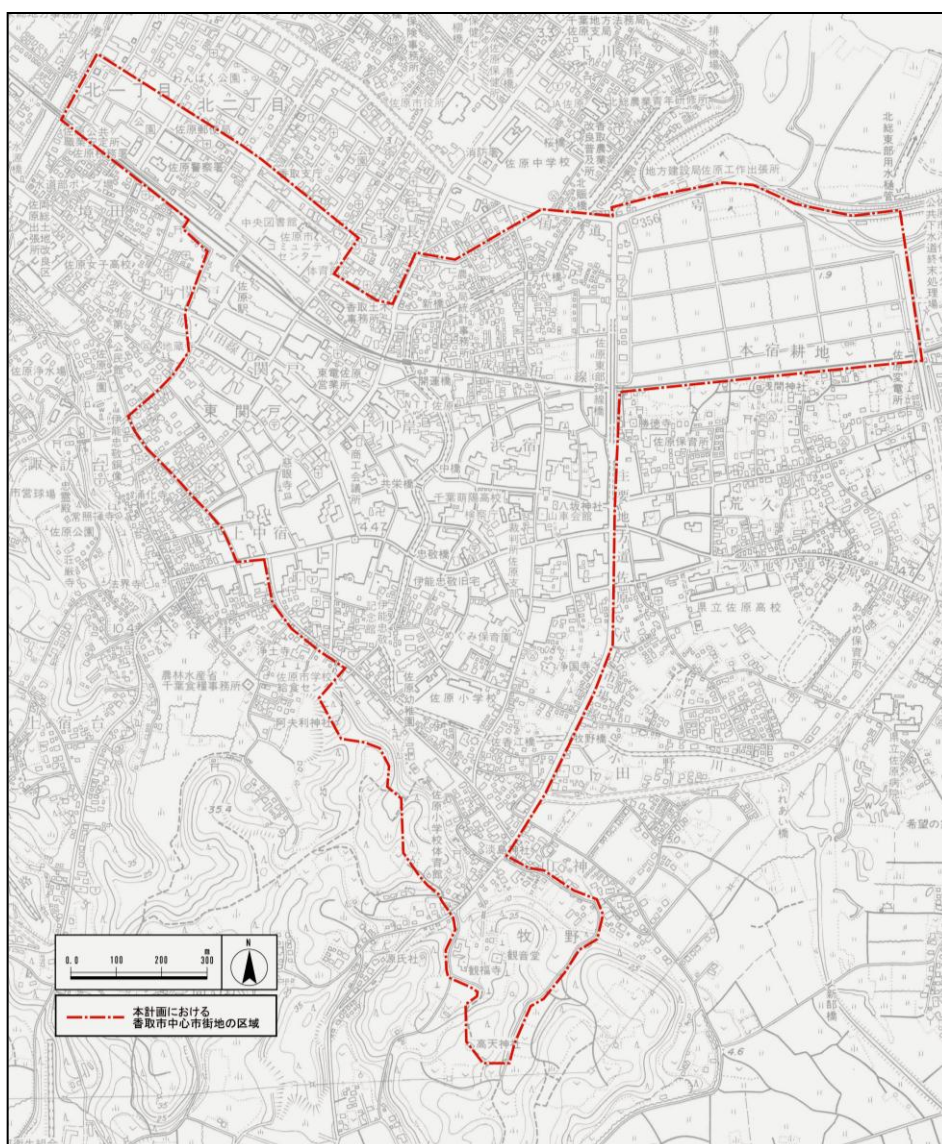
(1) 調査日程 (計4日間)

配布日：平成22年11月11日・12日

回収日：平成22年11月17日・18日

(2) 調査範囲

下図に示す香取市中心市街地の範囲



(3) 調査対象

調査範囲内に立地する下表に示す業態の商店。製造業(各種工場)、建設業、金融業(銀行、保険など)、医療・福祉業(病院、老人ホーム等)、教育業(予備校、塾、そろばん教室、英会話教室、ピアノ教室等)、運輸業(宅配便、郵便局等)は調査の対象としない。

■調査対象とする商店の業態

業 態		扱っている商品、サービス
卸売り・小売業	各種商品小売業	スーパー、百貨店など、多品種を扱っている店舗
	織物・衣服・身の回り品小売業	呉服、洋服、下着、寝具、くつ、カバン、手芸用品
	飲食料品小売業	野菜、果物、食肉、鮮魚、酒、菓子、パン、牛乳、茶類、米穀、食料加工品(豆腐・かまぼこ等)、乾物、コンビニ
	機械器具小売業	自動車、バイク、自転車、電気器具(家電製品、パソコン等)、機械器具
	その他の小売業	家具、建具、畳、仏壇、金物、食器、医薬品、化粧品、農耕用品、燃料、ガソリンスタンド、書籍(本・雑誌)、文具、ハンコ、スポーツ用品、おもちゃ、レジャー用品、楽器、レコード・CD、時計、カメラ、眼鏡、たばこ、花、植木、各種インテリア、貴金属、ペット、骨董品
宿泊業、飲食サービス業	宿泊業	ホテル、旅館、民宿
	飲食店	食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん、すし、居酒屋、バー、キャバレー、喫茶店、ファストフード
	持ち帰り・配達飲食サービス業	弁当、各種デリバリー(ピザ、すし等)
生活関連サービス業、娯楽業	洗濯、理容・美容・浴場業	クリーニング、床屋、美容室、浴場(銭湯等)、エステ
	その他の生活関連サービス業	旅行代理店、衣服修繕(洋服直し等)、冠婚葬祭(葬式など)、写真現像・焼付
	娯楽業	映画館、劇場、スポーツ施設(ゴルフ・テニス練習場など)、遊戯場(囲碁・将棋、マージャン、パチンコ、ゲームセンター等)、カラオケボックス
空き店舗		—

※業態分類は日本標準産業分類(H19年11月改定)による

(4) 調査の方法

各商店にアンケート票を調査員が手渡しで配布し、後日回収する。

(5) 配布数

274 票

(6) 回収数

268 票 (回収率 : 97.8%)

設問 2-5 主な業種をお答えください。（あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい）

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------|--------------|
| 1. 食料品 | 2. 薬・化粧品 | 3. 書籍・CD・文房具 | 4. 生花 |
| 5. 衣料品 | 6. 日用雑貨 | 7. スポーツ用品 | 8. 写真・時計・眼鏡等 |
| 9. インテリア・家具 | 10. 電化製品 | 11. 自転車・自動車 | 12. 貴金属類 |
| 13. クリーニング | 14. 理髪店・美容院・エステ | | |
| 15. 喫茶店 | 16. レストラン・食堂(麺類、寿司等の専門料理店を含む) | | |
| 17. 居酒屋 | 18. スナック・バー | 19. 仕出し・デリバリー | 20. ホテル・旅館 |
| 21. 娯楽(パチンコ、ゲームセンター、スポーツ施設、カラオケ等) | | | 22. スーパー・百貨店 |
| 23. その他 (| | |) |

設問 2-6 来客用駐車場の有無を教えてください。

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい。また、駐車場がある場合には台数をご記入下さい)

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 1. 駐車場なし | 2. 駐車場あり (大型車: _____ 台、乗用車: _____ 台) |
|----------|--------------------------------------|

3. あなたのお店の経営について

設問 3-1 従業員数をお答えください(経営者ご自身、パート・アルバイトの方を含めてお答え下さい)。

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 1人～2人 | 2. 3人～5人 | 3. 6人～10人 | 4. 11人～20人 | 5. 20人以上 |
|----------|----------|-----------|------------|----------|

設問 3-2 従業員のうち、経営者ご自身、家族従業員以外の人数をお答え下さい。

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

- | | | | |
|------------|----------|----------|-----------|
| 1. 0人 | 2. 1人～2人 | 3. 3人～5人 | 4. 6人～10人 |
| 5. 11人～20人 | 6. 20人以上 | | |

設問 3-3 営業形態をお答えください。（あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい）

- | | |
|-------|-------------|
| 1. 個人 | 2. 法人(会社組織) |
|-------|-------------|

設問 3-4 経営年数をお答えください。当地で創業して何年になりますか？

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

- | | | | |
|---------|--------------|---------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上 |
|---------|--------------|---------------|----------|

設問 3-5 土地建物所有関係をお答えください。 (あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

1. 土地・建物とも自己所有 2. 建物のみ自己所有 3. 土地・建物とも借地借家

設問 3-6 過去数年の売り上げは、如何ですか？ (あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

1. 増加傾向 2. 横ばい 3. 減少傾向

設問 3-7 今後の経営状況についてどのようにお考えですか？

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

1. 現状よりも厳しくなると思う 2. 現状とほぼ変わらないと思う
3. 現状よりも良くなると思う 4. よく分からない

4. 商店会等への所属状況について

設問 4-1 商店会等の組織に所属していますか？ (あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

1. 所属している (所属している商店会等の名称：)
2. 所属していたが、退会した (所属していた商店会等の名称：)
3. 所属したことがない

<設問 4-1 で「1. 所属している」と回答した方のみ設問 4-2 にお答え下さい>

設問 4-2 商店会等の活動に積極的ですか？

(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

1. とても積極的 2. 積極的 3. ふつう 4. あまり積極的でない
5. まったく積極的でない

5. あなたのお店の顧客層について

設問 5-1 あなたのお店のお客さんの主な年代を教えてください。

(あてはまるものを3つ以内に○印をつけて下さい)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

設問 5-2 あなたのお店のお客さんの主な居住地を教えてください。

(あてはまるものを2つを多い順に、記入欄に記入してください)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. あなたのお店の近隣町内に在住 | 2. 佐原区に在住 |
| 3. 佐原区以外の香取市内に在住 | 4. 近隣の市町村に在住 |
| 5. 上記1～4以外(観光客など) | |

<記 入 欄>

1 番目に多い	2 番目に多い
※番号を1つだけ記入	※番号を1つだけ記入

6. 商業の活性化について

設問 6-1 あなたのお店、及びお店が所属する商店会を活性化するためには、どのような事が必要と
思いますか？

以下の1～11の中からあてはまるもの5つ以内に○印をつけて下さい。さらに、その中で
必要性の高い上位3つを順番に記入してください。

※あてはまるもの、5つ以内に○印をつけてください。

- | | | |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 1. 後継者の育成 | 2. 新規出店者への支援 | 3. 商店会組織の活性化 |
| 4. お店や商店街の雰囲気づくり | 5. 商品、サービスの品揃えを増やす | |
| 6. 商品、サービスの質の一層の向上 | 7. 接客・サービスの一層の向上 | |
| 8. 商品、サービスの低価格化 | 9. 宣伝・広報 | 10. 営業日・営業時間を増やす |
| 11. その他 () | | |

※上で○印をつけた選択肢の中から、特に必要性の高い上位3つを選び、必要性の高い順にその番号を記
入してください。

1 番目に必要	2 番目に必要	3 番目に必要
※番号を1つだけ記入	※番号を1つだけ記入	※番号を1つだけ記入

設問 6-2 香取市中心市街地の商業全体を活性化するためには、どのような事が必要と思いますか？

以下の 1～18 の中からあてはまるもの 5 つ以内に○印をつけて下さい。さらに、その中で
必要性の高い上位 3 つを順番に記入してください。

※あてはまるもの、5 つ以内に○印をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 最寄品の充実 | 2. 生鮮品の充実 | 3. 買回り品の充実 |
| 4. お土産物の充実 | 5. 飲食の充実 | 6. 来街者用の駐車場の拡充 |
| 7. 公共交通の利便性の向上（バス増便・コースの多様化など） | 8. 歩行空間の充実 | |
| 9. 車の交通量の減少 | 10. 集客の核となる大型店の誘致 | 11. 空き店舗対策の実施 |
| 12. 起業支援・人材育成 | 13. 宣伝・広報の充実 | 14. 集客イベントの開催 |
| 15. 中心市街地の居住環境の向上 | 16. 中心市街地の公共公益サービスの充実 | |
| 17. 中心市街地全体の雰囲気・イメージの向上 | | |
| 18. その他（ | | ） |

※上で○印をつけた選択肢の中から、特に必要性の高い上位 3 つを選び、必要性の高い順にその番号を記入してください。

1 番目に必要	2 番目に必要	3 番目に必要
※番号を 1 つだけ記入	※番号を 1 つだけ記入	※番号を 1 つだけ記入

7. 中心市街地活性化のための取り組みについて

設問 7-1 平成 13 年(2001 年)3 月に旧佐原市が中心市街地活性化基本計画を策定し、その後、中心市街地活性化のための様々な事業を実施してきました。平成 13 年当時(約 9 年前)と比べて、香取市中心市街地の魅力は向上したと思いますか？

下表の(1)～(4)について、それぞれお答え下さい(あてはまる数字に○印をつけて下さい)。

評価項目	向上 ←←←←			→→→→ 低下	
	大きく 向上した	やや 向上した	変わらない	やや 下がった	大きく 下がった
(1) まちの印象・イメージ	1	2	3	4	5
(2) 利便性	1	2	3	4	5
(3) まちの賑わい・活気	1	2	3	4	5
(4) 中心市街地への来街者数	1	2	3	4	5

設問 7-2 中心市街地活性化のための様々な取り組みや活動に対して、参加・協力したいとお考えですか？
(あてはまるものを1つだけに○印をつけて下さい)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 積極的に参加・協力したい | 2. 無理のない範囲内で参加・協力したい |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまり参加・協力したくない | 5. まったく参加・協力したくない |

★★今後の香取市中心市街地のまちづくりに対するご意見などがございましたら、以下にご記入下さい★★

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

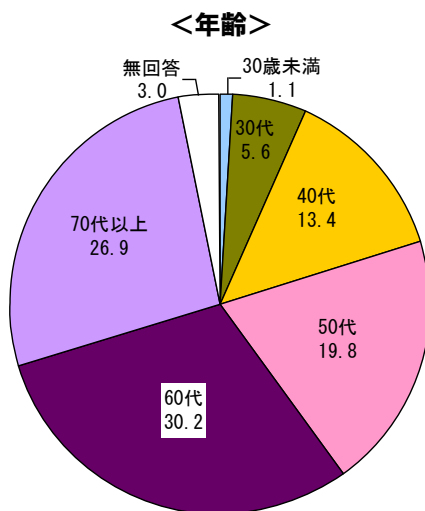
[3]調査結果取りまとめ

商店街アンケート調査の結果について取りまとめる。

(1) 回答者属性

①年 齢

・回答者の年齢は、60代が30.2%と最も多く、60代以上が半数以上(57.1%)を占めている。

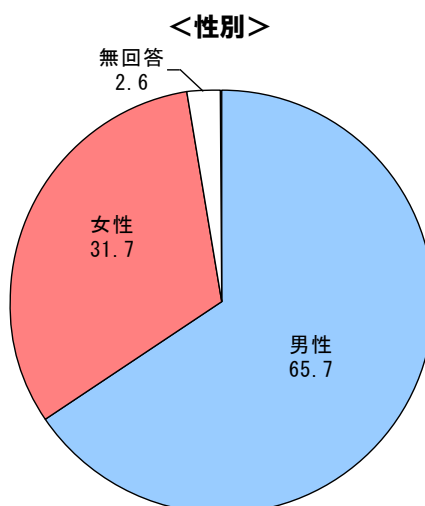


年齢

	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
人	3	15	36	53	81	72	8	268
割合 (%)	1.1	5.6	13.4	19.8	30.2	26.9	3.0	100.0

②性 別

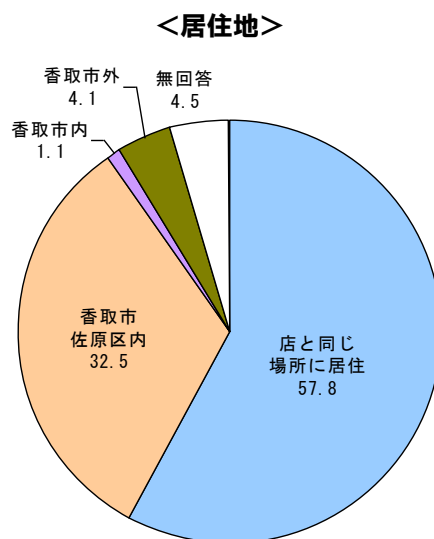
・回答者の性別は男性が65.1%、女性が31.7%である。



性別	男性	女性	無回答	合計
人	176	85	7	268
割合 (%)	65.7	31.7	2.6	100.0

③居住地

- ・回答者の居住地は、「店と同じ場所に居住」が57.8%と最も多く、「香取市佐原区内」と合わせると90.3%となり、全体の約9割が佐原区内に居住していることがわかる。
- ・「香取市外」は4.1%で、いずれも千葉県・茨城県内にある近隣市町村の居住者である。



居住地

	店と同じ場所に居住	香取市佐原区内	香取市内	香取市外	無回答	合計
人	155	87	3	11	12	268
割合 (%)	57.8	32.5	1.1	4.1	4.5	100.0

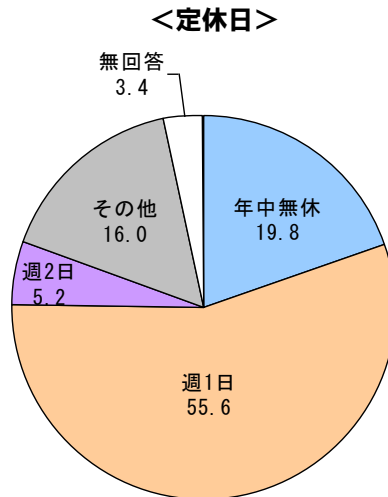
香取市外の内訳

千葉県	成田市	3
	旭市	1
	芝山町	1
	匝瑳市	1
	栄町	1
	東金市	1
	茨城県	行方市
	潮来市	1
	稲敷市	1

(2) 店の営業状況

①定休日

- ・定休日は「週1日」が55.6%と最も多く、過半数を占めている。次いで多いのは「年中無休」で、全体の約2割を占めている。
- ・「その他」では、「不定休」との回答が多く、回答者全体の4.1%を占めている。



定休日

(重複回答=1)

	年中無休	週1日	週2日	その他	無回答	合計
人	53	149	14	43	9	268
割合 (%)	19.8	55.6	5.2	16.0	3.4	100.0

その他の内訳

不定休	11
隔週2日	5
月2日	4
正月のみ	4
週4日	2
隔週1日	1
月1日	1
月1～2日	1
週1日+祭日休	1
週1日+月2日	1
週1日+月2回の連休	1
週1日+月1日	1
第1第2月火曜日	1
週1日2時より	1
店舗により異なる	1

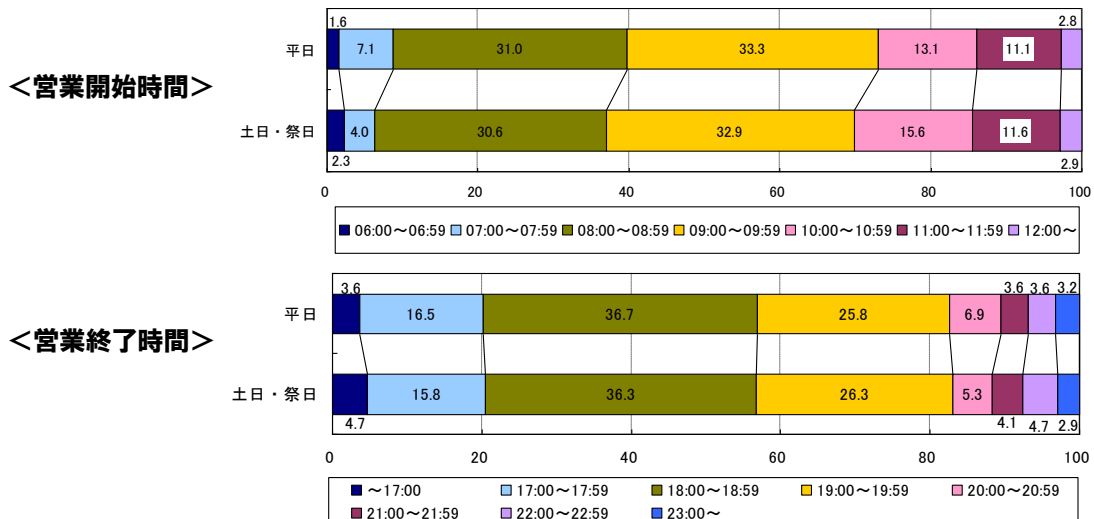
②営業時間

- ・営業開始時間は、平日・休日ともに「9:00～9:59」、「8:00～8:59」が多く、8時から10時までの間に全体の約7割の店が開店する。
- ・平日と休日の営業開始時間を比較すると、10時以降に始業する店は平日27.0%、休日30.1%となっており、休日は平日よりも営業開始時間が遅い傾向が読み取れる。
- ・営業終了時間は、平日・休日ともに「18:00～18:59」、「19:00～19:59」が多く、18時から20時までの間に全体の6割以上の店が閉店する。
- ・平日と休日の営業終了時間を比較すると、どの時間帯も割合に大きな変化は無く、平日と休日で就業時間はほとんど変わらないことが読み取れる。
- ・アンケートは日中に各店舗へ手渡しで配布したため、深夜営業の店舗については十分に抽出されていない可能性も考えられる。

営業時間

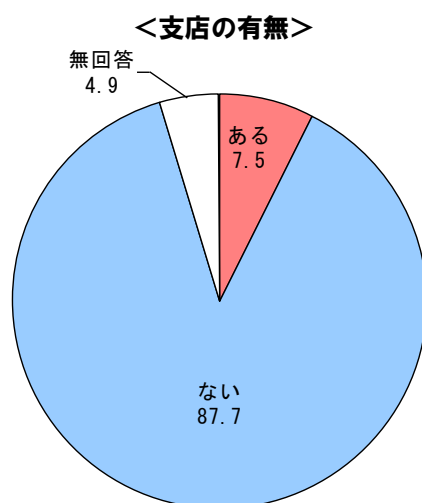
	平日				土日・祭日			
	営業開始		営業終了		営業開始		営業終了	
	人	割合 (%)	人	割合 (%)	人	割合 (%)	人	割合 (%)
06:00～06:59	4	1.6			4	2.3		
07:00～07:59	18	7.1			7	4.0		
08:00～08:59	78	31.0			53	30.6		
09:00～09:59	84	33.3			57	32.9		
10:00～10:59	33	13.1			27	15.6		
11:00～11:59	28	11.1			20	11.6		
12:00～12:59								
13:00～13:59	1	0.4						
14:00～14:59			2	0.8				
15:00～15:59	2	0.8			1	0.6	1	0.6
16:00～16:59	1	0.4	7	2.8	2	1.2	7	4.1
17:00～17:59	3	1.2	41	16.5	2	1.2	27	15.8
18:00～18:59			91	36.7			62	36.3
19:00～19:59			64	25.8			45	26.3
20:00～20:59			17	6.9			9	5.3
21:00～21:59			9	3.6			7	4.1
22:00～22:59			9	3.6			8	4.7
23:00～23:59			2	0.8				
00:00～00:59			3	1.2			2	1.2
01:00～01:59								
02:00～02:59			2	0.8			2	1.2
03:00～03:59								
04:00～04:59								
05:00～05:59			1	0.4			1	0.6
合計	252	100.0	248	100.0	173	100.0	171	100.0

※割合は、無回答の数を含めず算出



③支店の有無

- ・支店については「ない」が87.7%を占め、9割近くの店が支店を持っていない。

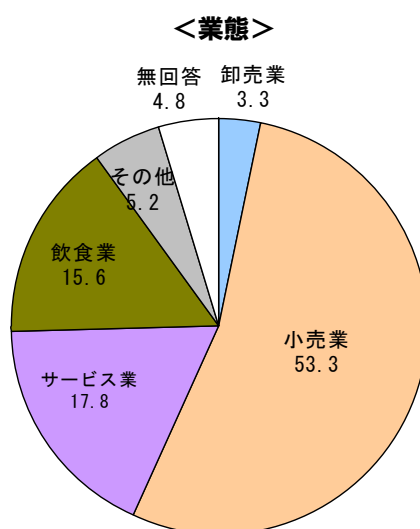


支店の有無

	ある	ない	無回答	合計
人	20	235	13	268
割合 (%)	7.5	87.7	4.9	100.0

④業態

- ・業態は、「小売業」が53.3%と最も多く、次いで「サービス業」(17.8%)、「飲食業」(15.6%)が多い。
- ・「その他」には、製造業が多くみられた。



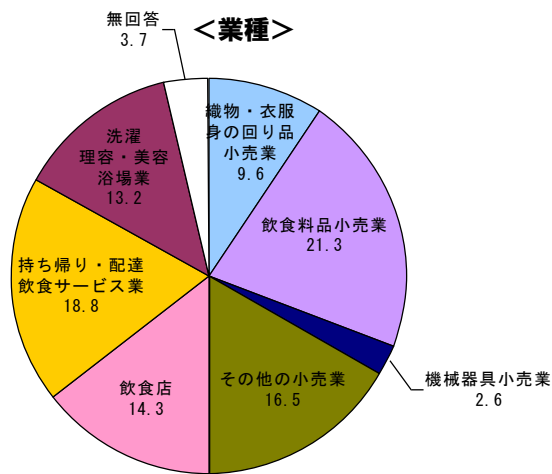
業態

(重複回答=2)

	卸売業	小売業	サービス業	飲食業	その他	無回答	合計
人	9	144	48	42	14	13	270
割合 (%)	3.3	53.3	17.8	15.6	5.2	4.8	100.0

⑤業種

- ・業種としては「飲食料品小売業」が21.3%と最も多く、次いで「持ち帰り・配達飲食サービス業」(18.8%)、「その他の小売業」(16.5%)が多い。



業種

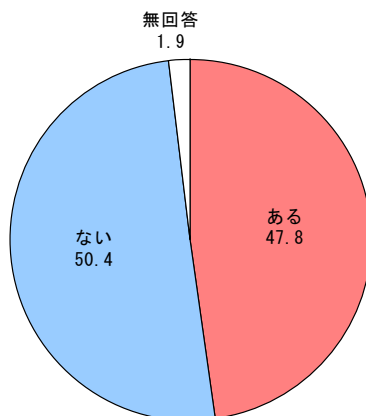
(重複回答=4)

	人	割合 (%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	26	9.6
飲食料品小売業	58	21.3
機械器具小売業	7	2.6
その他の小売業	45	16.5
宿泊業	0	0.0
飲食店	39	14.3
持ち帰り・配達飲食サービス業	51	18.8
洗濯、理容・美容・浴場業	36	13.2
その他の生活関連サービス業	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	10	3.7
合計	272	100.0

⑥来客用駐車場の有無

- ・来客用の駐車場は、47.8%が「ある」と回答しており、「ない」の50.7%を若干下回るものの、約半数の店舗に駐車場が付いていることがわかる。
- ・来客用駐車場の乗用車の駐車台数については、「2台」、「1台」、「3台」の順に多く、駐車場台数について回答があった108店舗のうち57.4%が3台以下である。
- ・7軒の店舗が大型車用の駐車スペースを有していた。

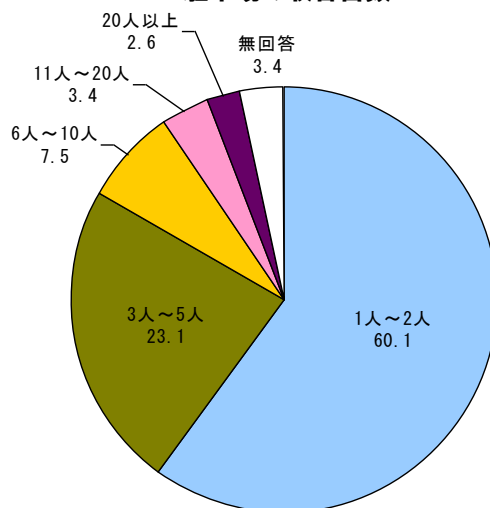
＜駐車場の有無＞



駐車場の有無

	ある	ない	無回答	合計
人	128	135	5	268
割合 (%)	47.8	50.4	1.9	100.0

＜駐車場の収容台数＞



駐車場の収容台数（乗用車）

	1台	2台	3台	4台	5～9台	10～19台	20～49台	50台以上	合計
人	22	27	13	11	23	8	2	2	108
割合 (%)	20.4	25.0	12.0	10.2	21.3	7.4	1.9	1.9	100.0

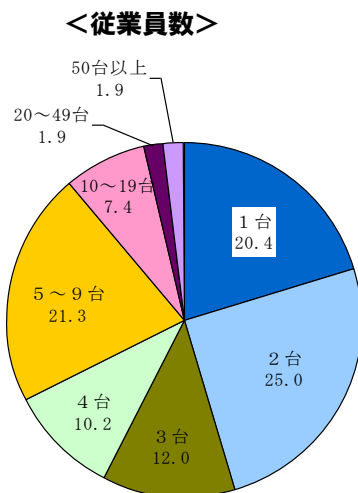
駐車場の収容台数（大型車）

	1台	2台	3台	4台	5台	合計
人	2	3	0	1	1	7
割合 (%)	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	100.0

(3) 店の経営状況

①従業員数

- ・従業員数は「1～2人」が約6割で最も多く、次いで「3～5人」が 23.1%となっており、全体の8割以上の店が従業員数5人以下で経営している。

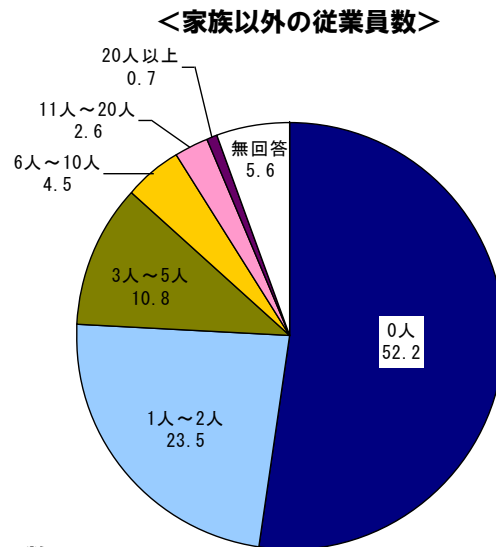


従業員数

	1人～2人	3人～5人	6人～10人	11人～20人	20人以上	無回答	合計
人	161	62	20	9	7	9	268
割合 (%)	60.1	23.1	7.5	3.4	2.6	3.4	100.0

②家族以外の従業員数

- ・家族以外の従業員数は、「0人」が 52.2%と最も多く、半数以上の店が家族のみで経営している。
- ・家族以外の従業員が10人以上いるとの回答があった店の業種は「飲食料品小売業」「飲食店」「持ち帰り・配達飲食サービス業」「洗濯・理容・美容・浴場業」であった。



家族以外の従業員数

	0人	1人~2人	3人~5人	6人~10人	11人~20人	20人以上	無回答	合計
人	140	63	29	12	7	2	15	268
割合 (%)	52.2	23.5	10.8	4.5	2.6	0.7	5.6	100.0

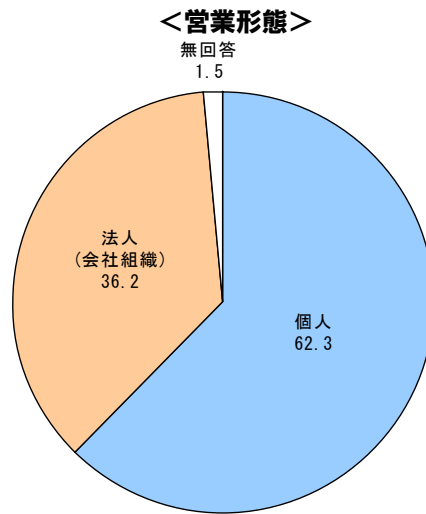
[クロス集計]業種別にみる家族以外の従業員数

(人)

	0人	1人~2人	3人~5人	6人~10人	11人~20人	20人以上	合計
各種商品小売業	0	0	0	0	0	0	0
織物・衣服・身の回り品小売業	14	8	1	3	0	0	26
飲食料品小売業	34	12	6	3	2	1	58
機械器具小売業	5	1	1	0	0	0	7
その他の小売業	26	10	4	2	0	0	42
宿泊業	0	0	0	0	0	0	0
飲食店	10	13	9	3	2	0	37
持ち帰り・配達飲食サービス業	25	13	6	1	2	0	47
洗濯・理容・美容・浴場業	23	7	1	0	1	1	33
その他の生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	137	64	28	12	7	2	250

③営業形態

- ・営業形態は、個人経営が約6割、法人が約4割となっており、個人経営の店舗の方が多い。

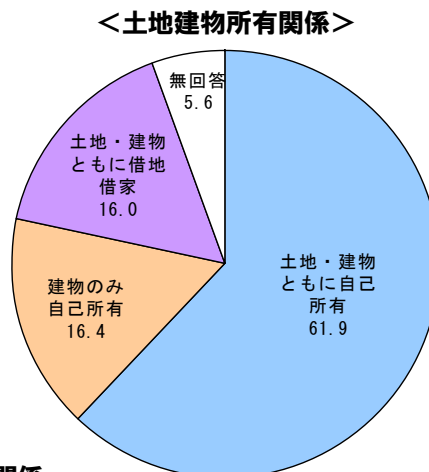


営業形態

	個人	法人 (会社組織)	無回答	合計
人	167	97	4	268
割合 (%)	62.3	36.2	1.5	100.0

④土地建物所有関係

- ・土地、建物の所有関係をみると、「土地・建物ともに自己所有」が61.9%と最も多く、「建物のみ自己所有」(16.4%)、「土地・建物ともに借地借家」(16.0%) はほぼ同数であった。

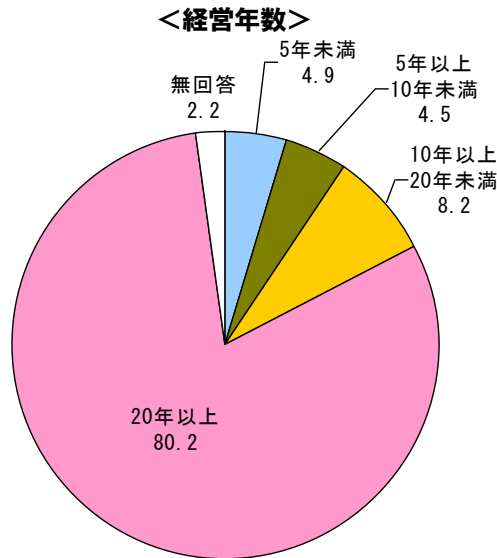


土地建物所有関係

	土地・建物 ともに自己所有	建物のみ 自己所有	土地・建物 ともに借地借家	無回答	合計
人	166	44	43	15	268
割合 (%)	61.9	16.4	16.0	5.6	100.0

⑤経営年数

- ・経営年数は、「20年以上」が最も多く、全体の約8割を占めており、経営年数10年未満の店は、全体の約1割であった。
- ・経営年数を土地建物の所有関係別にみると、経営年数20年未満の店は借地借家が4割以上と多いが、20年以上の店は73.8%が土地・建物ともに自己所有である。
- ・経営年数を経営者の年齢別にみると、経営年数10年以上の店は60代以上が過半数を占めているが、経営年数5年未満の店では30代が、5～10年の店では40代が最も多く、若い世代の新規参入も少数ながらいることが読み取れる。



経営年数

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	合計
人	13	12	22	215	6	268
割合 (%)	4.9	4.5	8.2	80.2	2.2	100.0

[クロス集計]土地建物所有関係別にみる経営年数

	土地・建物 ともに自己所有	建物のみ 自己所有	土地・建物 ともに借地借家	合計	
5年未満	38.5	15.4	46.2	100.0	N=13
5年以上 10年未満	20.0	0.0	80.0	100.0	N=10
10年以上 20年未満	28.6	9.5	61.9	100.0	N=21
20年以上	73.8	18.4	7.8	100.0	N=206

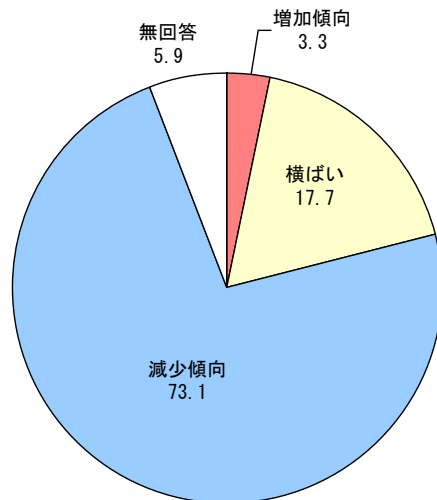
[クロス集計]年齢別にみる経営年数

	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計	
5年未満	0.0	38.5	15.4	23.1	23.1	0.0	100.0	N=13
5年以上 10年未満	9.1	9.1	36.4	27.3	18.2	0.0	100.0	N=11
10年以上 20年未満	4.8	0.0	23.8	19.0	33.3	19.0	100.0	N=21
20年以上	0.5	3.8	11.9	20.0	32.4	31.4	100.0	N=210

⑥売り上げ傾向

- ・売り上げは、7割以上が「減少傾向」と回答している。
- ・売り上げ傾向を業種別にみると、「飲食店」「持ち帰り・配達飲食サービス業」は「増加傾向」が5%以上、「横ばい」が20%以上であり、飲食関連業種が他の業種よりも売り上げ傾向が上向きである。

<売り上げ傾向>



売り上げ傾向

(重複回答=3)

	増加傾向	横ばい	減少傾向	無回答	合計
人	9	48	198	16	271
割合 (%)	3.3	17.7	73.1	5.9	100.0

[クロス集計]業種別にみる売り上げ傾向

(%)

	増加傾向	横ばい	減少傾向	合計
各種商品小売業	0.0	0.0	0.0	—
織物・衣服・身の回り品小売業	4.0	16.0	80.0	100.0
飲食料品小売業	3.6	12.5	83.9	100.0
機械器具小売業	0.0	16.7	83.3	100.0
その他の小売業	0.0	20.0	80.0	100.0
宿泊業	0.0	0.0	0.0	—
飲食店	5.4	21.6	73.0	100.0
持ち帰り・配達飲食サービス業	6.1	28.6	65.3	100.0
洗濯、理容・美容・浴場業	0.0	18.2	81.8	100.0
その他の生活関連サービス業	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	0.0	0.0	—

N=25

N=56

N=6

N=45

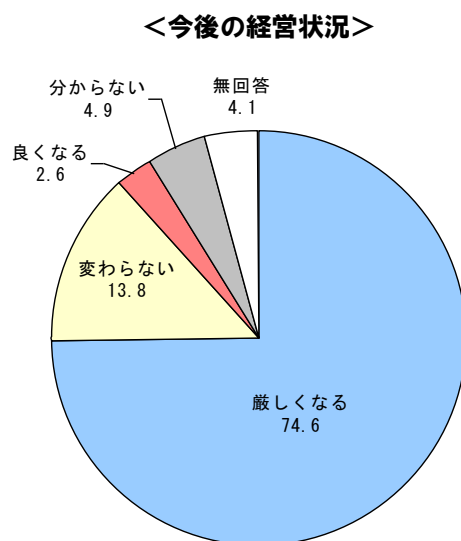
N=37

N=49

N=33

⑦今後の経営状況

- ・今後の経営状況の見通しについては、「厳しくなる」が74.8%と最も多く、「良くなる」は2.8%となっている。



今後の経営状況

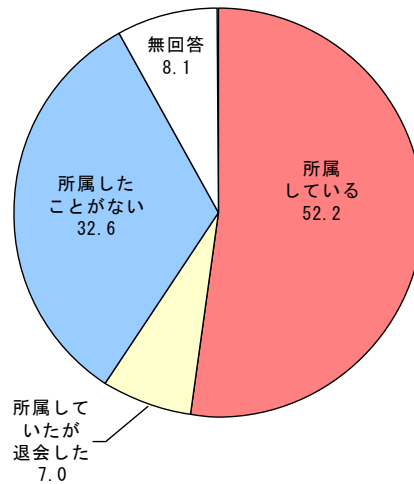
	厳しくなる	変わらない	良くなる	分からない	無回答	合計
人	200	37	7	13	11	268
割合 (%)	74.6	13.8	2.6	4.9	4.1	100.0

(4) 商店会等への所属状況

①所属の有無

- ・商店会等の組織には、半数以上が「所属している」と回答している。
- ・一方で、「所属したことがない」も全体の3割以上を占めている。
- ・商店会等への所属状況を年齢別にみると、40代以上では半数以上の人々が「所属している」との回答をしているが、30代では「所属したことがない」が58.3%で過半数を占めており、若年層に未所属の傾向が強い。

<商店会等への所属>



商店会等への所属

(重複回答=2)

	所属している	所属していたが退会した	所属したことがない	無回答	合計
人	141	19	88	22	270
割合 (%)	52.2	7.0	32.6	8.1	100.0

[クロス集計]年齢別にみる商店会等への所属

(%)

	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
所属している	100.0	41.7	65.7	62.0	52.6	52.2
所属していたが退会した	0.0	0.0	2.9	8.0	9.2	10.1
所属したことがない	0.0	58.3	31.4	30.0	38.2	37.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

N=3

N=12

N=35

N=50

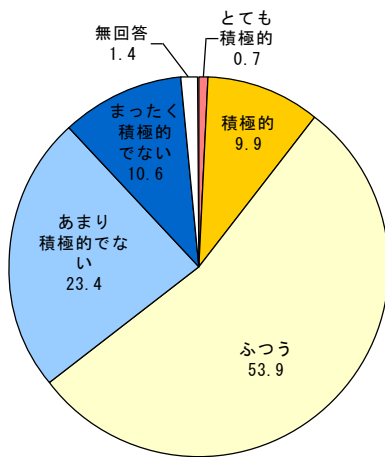
N=76

N=69

②活動への参加

- ・商店会等の組織に参加している人のうち半数以上の人、商店会等の活動への参加意欲は「ふつう」と回答している。
- ・商店会等の活動に積極的な人は全体の約1割を占めているが、反対に積極的でない人は34.0%を占め、活動に対して積極的でない人のほうが多いことがわかる。
- ・商店会等の活動への参加を業種別にみると、活動への参加に積極的なのは「飲食料品小売業」「飲食店」で、「積極的」が15%以上を占めている。「飲食料品小売業」「飲食店」は他業態に比べて近年売上げが順調な業態であり、この事が影響している可能性が考えられる。
- ・反対に「織物・衣服・身の回り品小売業」「その他小売業」「洗濯・理容・美容・浴場業」は「あまり積極的でない」と「まったく積極的でない」を合わせると4割を超え、活動への参加に消極的な姿勢がうかがえる。

<商店会等の活動への参加>



商店会等の活動への参加

	とても積極的	積極的	ふつう	あまり積極的でない	まったく積極的でない	無回答	合計
人	1	14	76	33	15	2	141
割合 (%)	0.7	9.9	53.9	23.4	10.6	1.4	100.0

[クロス集計]経営年数別にみる商店会活動への参加

	(%)	
	10年未満	10年以上
とても積極的	0.0	0.7
積極的	11.8	9.0
ふつう	35.3	52.4
あまり積極的でない	41.2	23.4
まったく積極的でない	11.8	14.5
合計	100.0	100.0

N=17 N=145

[クロス集計]業種別にみる商店会活動への参加

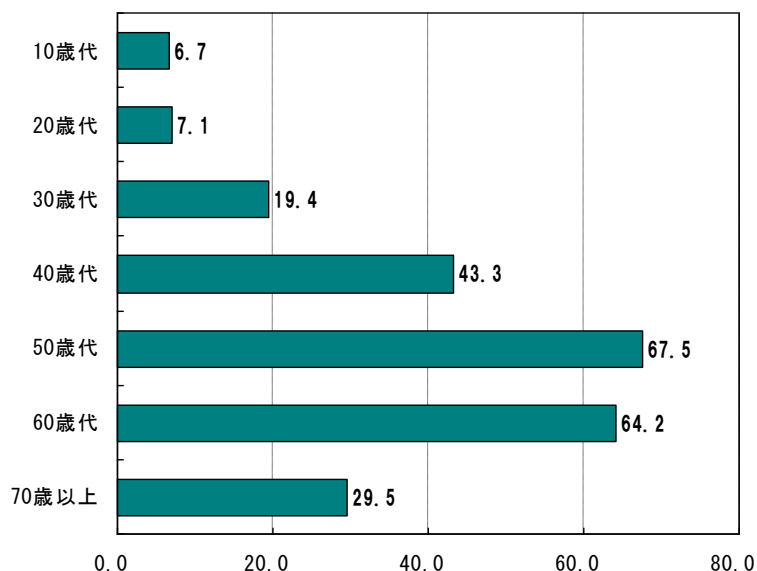
	(%)					
	とても積極的	積極的	ふつう	あまり積極的でない	まったく積極的でない	合計
各種商品小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
織物・衣服・身の回り品小売業	0.0	10.0	45.0	30.0	15.0	100.0
飲食料品小売業	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1	100.0
機械器具小売業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
その他小売業	0.0	5.9	52.9	35.3	5.9	100.0
宿泊業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
飲食店	0.0	16.7	45.8	20.8	16.7	100.0
持ち帰り・配達飲食サービス業	3.3	6.7	60.0	20.0	10.0	100.0
洗濯・理容・美容・浴場業	0.0	0.0	35.7	28.6	35.7	100.0
その他の生活関連サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—

(5) 顧客層

①顧客の年齢層（複数回答）

- ・顧客の年齢層は「50歳代」が67.5%と最も多く、次いで「60歳代」(64.2%)、「40歳代」(43.3%)が多い。
- ・顧客の年齢層を業種別にみると、「持ち帰り・配達飲食サービス業」は、20歳代が13.7%、30歳代が23.5%と多く、若い年代の顧客も多いことがうかがえる。

<顧客の年齢層>



顧客の年齢層

(N=268)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
人	18	19	52	116	181	172	79	19
割合 (%)	6.7	7.1	19.4	43.3	67.5	64.2	29.5	7.1

[クロス集計]業種別にみる顧客の年齢層

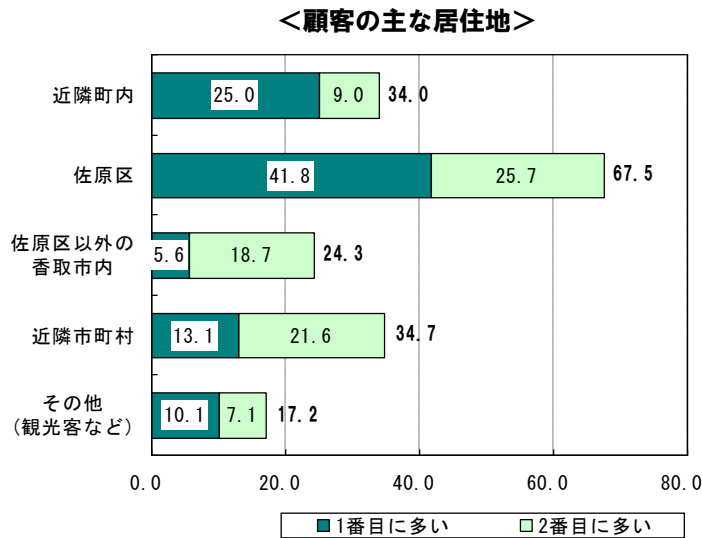
(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
各種商品小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
織物・衣服・身の回り品小売業	7.7	7.7	11.5	26.9	57.7	80.8	53.8	N=26
飲食物品小売業	8.6	5.2	5.2	50.0	74.1	67.2	20.7	N=58
機械器具小売業	28.6	0.0	14.3	42.9	42.9	42.9	71.4	N=7
その他の小売業	8.9	8.9	20.0	26.7	64.4	64.4	40.0	N=45
宿泊業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
飲食店	0.0	5.1	43.6	51.3	74.4	53.8	20.5	N=39
持ち帰り・配達飲食サービス業	7.8	13.7	23.5	43.1	62.7	62.7	21.6	N=51
洗濯、理容・美容・浴場業	2.8	8.3	19.4	55.6	69.4	66.7	27.8	N=36
その他の生活関連サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0

※業種別店舗数で割った割合

②顧客の主な居住地（複数回答）

- ・顧客の主な居住地については「佐原区」が67.5%と最も多く、次いで「近隣市町村」(34.7%)、「近隣町内」(34.0%)の順に多かった。
- ・顧客の主な居住地を業種別に見ると、「織物・衣服・身の回り品小売業」では「近隣市町村」との回答が26.9%となっており、市外から買いに来る人も多いことがわかる。



顧客の主な居住地

(N=268)

		近隣町内	佐原区	佐原区以外の香取市内	近隣市町村	その他(観光客など)
1番多い	人	67	112	15	35	27
	割合(%)	25.0	41.8	5.6	13.1	10.1
2番目に多い	人	24	69	50	58	19
	割合(%)	9.0	25.7	18.7	21.6	7.1
合計	人	91	181	65	93	46
	割合(%)	34.0	67.5	24.3	34.7	17.2

[クロス集計]業種別にみる顧客の主な居住地

(%)

	近隣町内	佐原区	佐原区以外の香取市内	近隣市町村	その他(観光客など)	
各種商品小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
織物・衣服・身の回り品小売業	15.4	15.4	23.1	26.9	0.0	N=26
飲食料品小売業	12.1	12.1	5.2	6.9	0.0	N=58
機械器具小売業	57.1	57.1	0.0	14.3	0.0	N=7
その他の小売業	22.2	22.2	13.3	6.7	0.0	N=45
宿泊業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
飲食店	2.6	2.6	2.6	2.6	17.9	N=39
持ち帰り・配達飲食サービス業	0.0	0.0	5.9	15.7	7.8	N=51
洗濯、理容・美容・浴場業	8.3	8.3	8.3	13.9	0.0	N=36
その他の生活関連サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	N=0

※業種別店舗数で割った割合

(6) 商業の活性化についての考え

①店・商店会の活性化に必要なこと（複数回答）

- ・自分の店や、所属する商店会の活性化に必要なこととしては、「お店や商店街の雰囲気づくり」が57.1%と最も多く、次いで「商品、サービスの質の一層の向上」「宣伝・広報」「接客、サービスの一層の向上」がそれぞれ約4割を占めた。
- ・活性化のために1番必要なこととしては「お店や商店街の雰囲気づくり」が16.4%と最も多く、次いで「後継者の育成」(16.0%)が多かった。

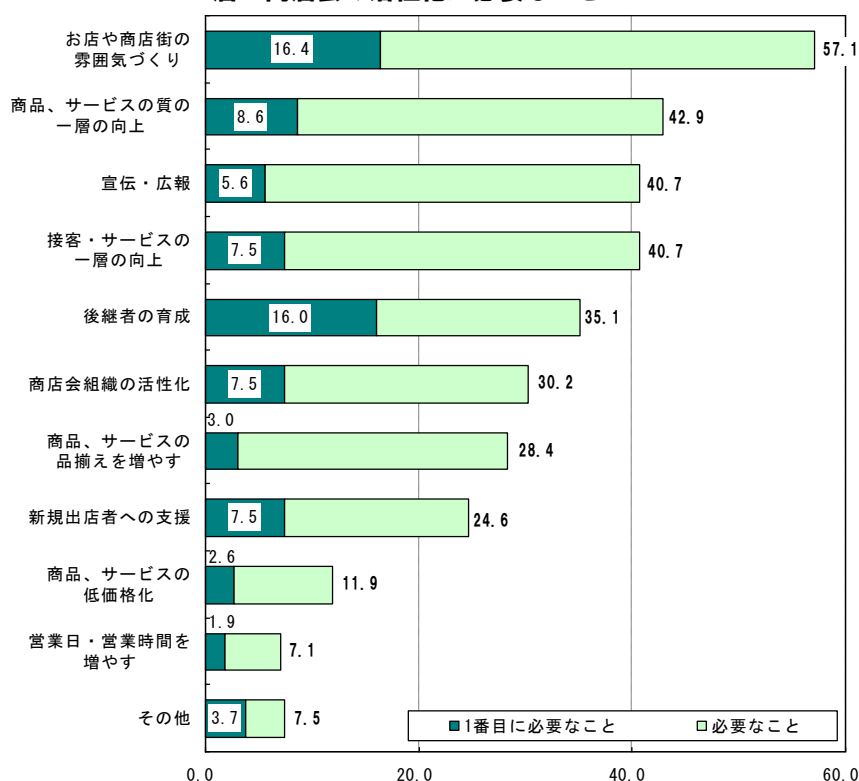
<店・商店会の活性化に必要なこと>

(N=268)

	1番必要なこと		必要なこと	
	人	割合 (%)	人	割合 (%)
お店や商店街の雰囲気づくり	44	16.4	153	57.1
商品、サービスの質の一層の向上	23	8.6	115	42.9
接客・サービスの一層の向上	20	7.5	109	40.7
宣伝・広報	15	5.6	109	40.7
後継者の育成	43	16.0	94	35.1
商店会組織の活性化	20	7.5	81	30.2
商品、サービスの品揃えを増やす	8	3.0	76	28.4
新規出店者への支援	20	7.5	66	24.6
商品、サービスの低価格化	7	2.6	32	11.9
営業日・営業時間を増やす	5	1.9	19	7.1
その他	10	3.7	20	7.5
無回答	6	2.2	38	14.2

※「必要なこと」は「一番必要なこと」を含めて、最大で3つまで回答可としている

店・商店会の活性化に必要なこと



②中心市街地活性化に必要なこと（複数回答）

- 香取市中心市街地の商業全体を活性化するために必要なこととしては、「空き店舗対策の実施」が44.4%と最も多く、次いで「来街者用の駐車場の拡充」(39.2%)、「中心市街地全体の雰囲気・イメージの向上」(35.1%)、「集客の核となる大型店の誘致」(34.3%)、「集客の核となる大型店の誘致」(34.3%)の順に多かった。
- 1番必要なこととしては、「集客の核となる大型店の誘致」が17.5%で最も多かった。

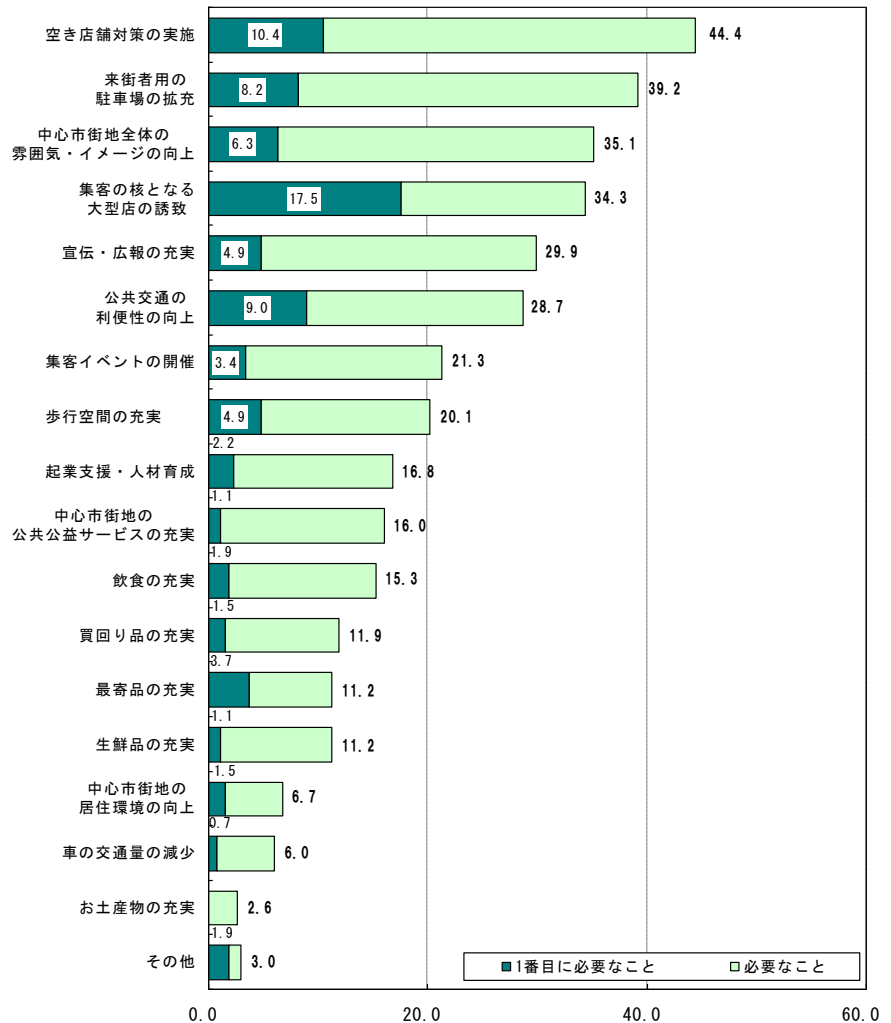
※「必要なこと」は「1番必要なこと」を含めて、最大で3つまで回答可としている

＜中心市街地活性化に必要なこと＞

(N=268)

	1番必要なこと		必要なこと	
	人	割合 (%)	人	割合 (%)
空き店舗対策の実施	28	10.4	119	44.4
来街者用の駐車場の拡充	22	8.2	105	39.2
中心市街地全体の雰囲気・イメージの向上	17	6.3	94	35.1
集客の核となる大型店の誘致	47	17.5	92	34.3
宣伝・広報の充実	13	4.9	80	29.9
公共交通の利便性の向上	24	9.0	77	28.7
集客イベントの開催	9	3.4	57	21.3
歩行空間の充実	13	4.9	54	20.1
起業支援・人材育成	6	2.2	45	16.8
中心市街地の公共公益サービスの充実	3	1.1	43	16.0
飲食の充実	5	1.9	41	15.3
買回り品の充実	4	1.5	32	11.9
最寄品の充実	10	3.7	30	11.2
生鮮品の充実	3	1.1	30	11.2
中心市街地の居住環境の向上	4	1.5	18	6.7
車の交通量の減少	2	0.7	16	6.0
お土産物の充実	0	0.0	7	2.6
その他	5	1.9	8	3.0
無回答	6	2.2	42	15.7

中心市街地活性化に必要なこと



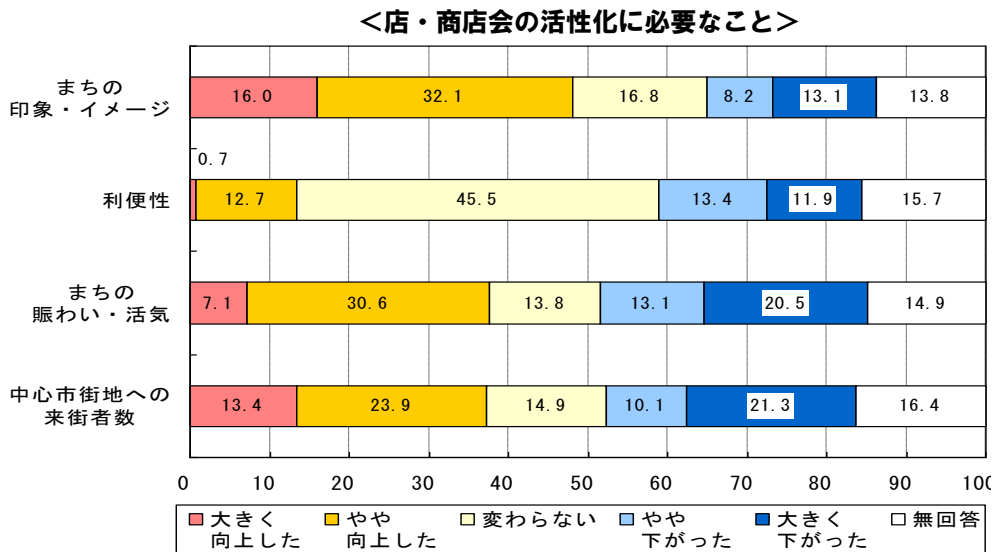
(7) 中心市街地活性化のための取り組み

①中心市街地の魅力向上について

- ・「まちの印象・イメージ」については「向上した(※1)」が48.1%、「下がった(※2)」が21.3%となっており、半数近くの人が中心市街地のイメージは向上したと回答している。
- ・「利便性」については、「変わらない」が45.5%と最も多い。また、「向上した」が13.4%であるのに対し、「下がった」は25.3%で、9年前に比べて利便性は下がったと思っている人のほうが多い。
- ・「まちの賑わい・活気」「中心市街地への来街者数」については、「変わらない」との回答が13~14%台と少なく、「向上した」が37%台、「下がった」が31~34%台で、「向上した」が若干多いものの、人によって感じ方が分かれる結果となっている。これは自由回答でも指摘のあるように、地域間・業種間で賑わいに偏りがある現状が影響しているものと考えられる。
- ・全般的に見れば、中心市街地活性化等に関わる近年の様々な取り組みによって、「まちの印象・イメージ」は向上したものの、それらが実質的な利便性や賑わい、来客数の向上にまで至っていないと考えている店主が多いといえる。

(※1)「向上した」は「大きく向上した」「やや向上した」の合計。

(※2)「下がった」は「やや下がった」「大きく下がった」の合計。



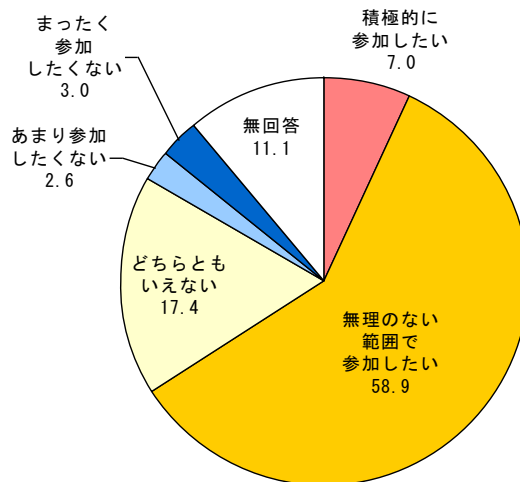
店・商店会の活性化に必要なこと

		大きく向上した	やや向上した	変わらない	やや下がった	大きく下がった	無回答	合計
まちの印象・イメージ	人	43	86	45	22	35	37	268
	割合(%)	16.0	32.1	16.8	8.2	13.1	13.8	100.0
利便性	人	2	34	122	36	32	42	268
	割合(%)	0.7	12.7	45.5	13.4	11.9	15.7	100.0
まちの賑わい・活気	人	19	82	37	35	55	40	268
	割合(%)	7.1	30.6	13.8	13.1	20.5	14.9	100.0
中心市街地への来街者数	人	36	64	40	27	57	44	268
	割合(%)	13.4	23.9	14.9	10.1	21.3	16.4	100.0

②取り組み・活動への参加意欲

- ・ 中心市街地活性化のための様々な取り組みや活動への参加については、「無理のない範囲で参加したい」が 58.9%と最も多く、「積極的に参加したい」(7.0%) と合わせると約 3分の2 の回答者が参加には意欲的な姿勢を見せている。
- ・ 取り組みや活動への参加意欲を年齢別にみると、40代以下の若い世代では「参加したい」が8割を超えているが、世代が上がるにつれ「参加したい」人の割合は減少している。
- ・ 取り組みや活動への参加意欲を経営年数別にみると、経営年数10年未満では95.2%の人が「参加したい」と答えているのに対し、経営年数10年以上では「参加したい」は73.0%で、「参加したくない」も7.0%みられた。

<取り組み・活動への参加意欲>



取り組み・活動への参加意欲

(重複回答=2)

	積極的に参加したい	無理のない範囲で参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	まったく参加したくない	無回答	合計
人	19	159	47	7	8	30	270
割合 (%)	7.0	58.9	17.4	2.6	3.0	11.1	100.0

[クロス集計]年齢別にみる取り組み・活動への参加意欲 (%)

	30歳未満	30~40代	50~60代	70代以上
参加したい	100.0	83.3	72.5	67.2
どちらともいえない	0.0	12.5	20.0	26.6
参加したくない	0.0	4.2	7.5	6.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

※「参加したい」は、「積極的に参加したい」と「無理のない範囲で参加したい」の合計
 ※「参加したくない」は、「あまり参加したくない」と「まったく参加したくない」の合計

[クロス集計]経営年数別にみる
 取り組み・活動への参加意欲 (%)

	10年未満	10年以上
参加したい	95.2	73.0
どちらともいえない	4.8	20.0
参加したくない	0.0	7.0
合計	100.0	100.0

(8) 自由記入

意見	<p>昔の雰囲気が残っている佐原に対して、年配の方は懐かしい気持ちになり、若者は物珍しい新鮮さを感じる様だ。 小野川の舟も人気があるので、ずっと残したいものだ。 観光客にしる一般客にしる、絶対数が少ないのが活性化しない最大の要因だと思う。 どんな形でも良いから集客を全体で考えねばならない。 歩行者はもちろん、車さえ市街地に入って来なくなってしまった。 街中央に魅力的な所が出来れば、なんとか人が入ってきて街が賑やかになってくれると思うが、魅力的な所が何もない。 観光客はマスコミなどの情報イメージのみで来客され、イメージから大きくはずれる店があると、町全体のクレームになる。 足並みを揃えるのは難しいにしても、そのことに対する注意を誰かがしないと大きなダメージになっていく。 先日川越の街に遊びに行った。佐原と同じ様な町並みと話を聞いていたが、町全体が一体となり、とても賑わっていた。 佐原も川越の街の様に繁盛する様に各々努力していければと思う。 テレビ、雑誌等では過剰に良いイメージで映っているが、観光地としては中途半端で不満を残して帰られる方が多いと感じる。 外国人観光客に対応する為の語学が欲しい。 「弁当などを買って外で食事したいが、売っている場所が分からないし、食べる場所もない」と、観光客から言われた。 休憩ができ、楽しく買物が出来る街。また来たい街にしたい。 これからの観光は、街全体に観光客が足を運べる様に考えた方が良いと思う。</p>
	<p>駅から伊能忠敬までの間に平成～江戸までの時代をめぐってゆくとリアルな町並み作りや小さな発見ができる文化的な遊び心のあるまちづくりをする。 市民の文化や芸術を生かした商店街を作り、佐原でしか味わえない面白さを出すようにする。 ドラマのロケ地であることをアピールする。 B級グルメの開発、大会への参加。 せつかくの観光資源や祭りがあがりながら、中心市街地の活性にはなっていないと思う。 例えば京都のように、ゆかたを着ることでサービスがあるとか、もっと舟で町を回覧できるようにするなど、この地域ならではの楽しみ方を商店会としてお客様に発信することができないか。 観光に関しては、日帰りツアーなどの短時間滞在が大半を占めているので、宿泊してもいいと思わせるまちづくりをするべき。 公共機関の施設などは閉館時間が早すぎるし、町中の店も営業時間を考慮するべきだ。 観光客に対して優しい街にする。 例えば写生などで訪れる団体がかなりいるが、どのような対応を欲しているか要望を聞き、無理のない範囲で答える。 観光で全国的に名を上げるのであれば、まず香取市の名を改めて佐原市にする。 伝建地区になって観光客も増えているので、街中の商店街全部で派手な照明・看板を撤去し建物も国の支援を受けて伝建地区の形態にする。(横濱商店街等は簡単に出来るような気がする。) 大連れの観光客がかなり多く、本屋の店先で犬本を売り出したら少し売れた。歩きの観光客の犬好き度高いと思うので、これを何かに生かせないか。 活性化のためには交流人口を増やす必要がある。人が来なくなる様な町にするために、いまある資源を活用して町づくりをするべき。 例えば駅から小野川までの動線は町の中(銀座通りや、横宿通り)を歩いてもらいたい。 昔の商店街、新しい現代的な街、石ただみの道など、地域にテーマ性をもたせてはどうか。 ここでしか買えない物の発掘、全国版になるような土産品の開発が必要。 通年を通じた活性現象を創生していくことが最重要。特に夜の街が楽しめる環境づくりはキーポイントではないかと思う。 これが醸成できれば近隣からの集客が図れ、結果として絶え間のない賑わいの街が生まれる。</p>
	<p>中心市街地の中でも古い町並みのエリアとそれ以外のエリアで状況が大きく違うため、設問6～7については返答しづらい。 古い町並みに人が多く集まっている現状はすばらしいことだと思うが、それ以外のエリアには全く異なった再生の方法が必要だと思う。 市や商工会などが、もっと積極的に町おこしをするべき。 ジャージャー橋のところが観光地になっていて、少しはなれた商店街には客が来ない。 観光客の来る場所は、一定の小野川沿いの限られた場所だけだ。 観光スポットだけでなく中心市街地全体の宣伝広報を計って欲しい。</p>
	<p>小野川下流域の充実が必要。忠敬橋付近だけの賑わいではなく、佐原市全体での賑わいを考えて欲しい。 小野川の付近のみ観光客は増えたが、その他駅前・周辺はさびれ、昔発展した所は寂しい限り。 元奈良屋の周りばかりに集中しているのでなんとかしてもらいたい。 9年前に比べ忠敬橋を中心とした半径80m位は、飛躍的に向上した。 反面それ以外の地域(酒蔵を除く)は9年前とあまり変わらない。 この地域の遺産を今少し発展に充て、忠敬橋界隈同様活性化させる必要がある。 商工会議所等が思っている「香取市中心市街地」とは忠敬橋を中心とする地区の事か。 現在、佐原駅のなす役割は「カメラP」によって変わっているようだ。佐原駅の周りには人通りもまばらだが、忠敬橋の方へ行くとながら人があふれている。 ジュハリさんに不動産を世話してもらわなければ、佐原では残れないようだ。</p>
	<p>観光客用の店ばかり力を入れている様に見える。行政は一般の生活に必要な店の活性化にも力を入れて欲しい。 「観光」偏重のまちづくりが今後どのような利益をもたらすか、十分に検討の上、計画的な未来設計の出来る街づくりをお願いします。 まちのイメージは以前より向上し、観光立県千葉の一躍を狙っていると思うが、その活力の一部であることは否めない。 街中居住者が生活用品をわざわざ車で買に出る現状や、街の玄関である佐原駅周辺の整備を急がねば真の活性化は成されない。 観光での誘致が成功している印象はあるが、一部の店舗のみしか恩恵がない。 もっと地域ぐるみでのイメージづくり、サービス、質を目指さなければ、その地域全体の魅力はうすれてしまうと思う。 商工会議所、商店会連合会等が観光に注力しすぎ、空き店舗の減少等に僅かしか注力していないように見える。 集客力の落ちた商店会では個人の努力にも限界がある。良き指導者に恵まれているとは思えない。 観光に力を入れるのも結構だが、小野川沿い数軒の賑わいではないか。 他の商店はどうなっているのか。観光でない人集めも考えたい。 街の活性化は、観光だけでは駄目だと思う。 街の中心は今死んでいる。ここにメスを入れないといけない。 中心市街地が活性化することは良いことと思うが、それが市民全体の利益につながるようにならなければ、意味が少ないと思う。 人口減少が続く中、観光客頼りのまちづくりではなく、もっと大局的な計画を立てるべきと思う。 観光商業者以外の施策を考えて頂きたい。</p>
	<p>観光以外の施策の強化</p>
	<p>地域間の差</p>
	<p>提案</p>
	<p>観光</p>

交通	道路	香取街道は道が狭いうえに往来も激しいので危ない。 「歩道が無くて危ない」と観光客がボヤいている。
		佐原駅周辺の道路拡張及び町並の整備をして欲しい。
		佐原の町内は一方通行が多くて不便。車での買い物不自由なので解除して欲しい。
		他の市町村からの来町があっても教えてあげることも難しいし、人を呼ぶには、まず交通規制を解くべきだ。
		駐車場も大切だが、アクセスを考えなければ全体的に歩きにくい。
	忠敬通り、小野川兩岸の自動車の通行を規制したらいいと思う。	
	都市計画、道路整備の推進ならびに駐車場の拡充をすることで、車の流れを確保し、行政の力を借りて商店街の充実（大型店の誘致）を図る。	
	「〇〇の道」のような歩きの人間のルートが、いくつかあると楽しいかもしれない。	
	香取街道がなかなか横断できない。（と、観光客から言われた。）	
	公共交通	公共交通を便利に。
市街地への無料バスの運行。		
集客力を高めるバスターミナルが必要。		
案内	佐原駅の改良工事完成に合わせて、小野川地区へのお客様の指導、特に駅前にわかりやすいルート図の掲出をして欲しい。	
	駅からのアクセスを聞かれることが多い。駅と忠敬橋あたりで迷うらしい。	
	トイレや駐車場の場所がわかりにくい。（と、観光客から言われた。）	
駐車場	道、特に路地などが分かりにくい。表通り以外の小さな店を回るのは楽しいが、迷うと困る。（と、観光客から言われた。）	
	駐車場の増設・整備が必要。	
	小野川沿いの店だと駐車場のスペースが難しい。 いつもお客様から駐車場が無いと言われるので、今後の課題にしていきたい。 店の駐車場が観光客に使われたり、他店へ行く為に使われたりして困っている。	
道の駅	駅前から川岸まで年毎にさびれていくのに、誰が何のために「道の駅」なんて中途半端なものをつくったのか。以前よりも街中に人が来なくなってしまった。そんな予算があったなら街をきれいにしてもらいたかった。	
	佐原駅へ降り立った来街者が皆驚いているのをご存知ないのか。 道の駅、川の駅が出来たので町の小さな食料品店が辞めていく。家賃、地代を払っている店は苦しい。 中心街も道の駅も繁栄する良い意見を出し合って考えたい。	
駅前の活性化	観光客しかあてにならないから、駅前を中心とした活性化は無理。	
	佐原駅前周辺空気を市の対策でどうにかして欲しい。駅前のイメージが悪い。	
	佐原駅駅舎新築に伴い、駅前を香取市の核として周辺から再開発が必要。 駅前の活性化、テレビの利用。 中心市街地（駅周辺）に観光物産館とお祭り会館を設置して、隣接に大型バスの駐車スペースを設ける。 ここを起点に来街者に町並を散策して頂く。 駅前をどうにかして欲しい。 小野川から駅前通りのゴーストタウン化を何とかした方がいい。メイン通りに行くまでに観光客が不安を感じると思う。	
市街地	中心市街地	
	中心市街地」という区域の特定が、よくわからない。 中心市街地とは、どの場所・どの範囲なのか、いまいち解らない。第三者的にも理解できるようにしてほしい。 協力したくとも、場所によっては取り組み方が全く違ってくる。	
衰退	まちの	
	佐原の町は昔から何も変わっていない。このままではさびれて行くだけだ。 店が点在してる為に全体として活気が感じられない。 なぜ東町との合併を断ったのか。廃れていくのを年々感じるの、市議員や役所の方々にもっと考えていただきたい。 現状では中心市街地といいながらも、どんどん空洞化が進んでしまうような気がする。 古く汚い個人店のイメージは消していけないとシャッター通りの町になってしまうのではないか。	
大型集客施設	肯定	
	否定	
大型店舗跡地	肯定	
	否定	
	肯定	
	否定	
	肯定	
	否定	
	肯定	

高齢者	<p>高齢者が増え、車に乗れなくなる方も多くなると思うので、高齢者が自分で買い物が出来る様な対策が必要。</p> <p>大型店が無い為、必要なものの買い物が出来ないと言う不便さがある。</p> <p>特に電車、バス利用のお年寄りは困っているようだ。駅周辺の住民にも同じことが言えると思う。</p> <p>香取市は若い人より老人の方が多く、若い人は他の町へ買い物をしに行ってしまう。</p> <p>駅前に老人が買物、病院等広くない範囲で全部出来るようにして欲しい。</p> <p>観光振興だけではなく商業振興事業等にも期待。高齢者にやさしい商業ゾーンを中活の中心にして欲しい。</p> <p>老人医療について香取市独自方式はないのか。例えば高齢者は無料とか、窓口医療負担50%枠は出来ないのか。</p>
若者	<p>若年層の来店・利用するきっかけがなすぎず。</p> <p>古きイメージに固執せず各店ごとに徐々に変化をしていかなければ、大型店に対し、対抗もできなければ利用する必要も感じない。</p> <p>若者が少ないため町並みそのものに活気が無い。</p> <p>観光客誘致の施策も大事だが、香取市全体の人口増加策が必要だ。</p> <p>例えば大学、短大、専門学校等の誘致策を積極化することにより、若年人口が増えると思う。</p> <p>1番の問題は、人口の減少・若者の流出ではないか。卒業後の就職先の確保のため、企業や専門学校等の誘致など、人口が増加する施策を考えて欲しい。</p>
雇用促進	<p>若い人が働ける住みやすい町にしてほしい。</p> <p>香取市には仕事場がない為、子供達は外へ働きに行ってしまう。</p> <p>観光に力を入れるのも良いかもしれないが、香取市民が市内で働き、市内にお金が落ちるような方法を考えて欲しい。</p> <p>働く場所が無い。今までどうして誘致出来なかったのか。</p> <p>観光だけに特化するのではなく、企業誘致などに力を入れ雇用促進しなかり、いくつ住居環境を整えても中心市街地での需要にはつながらないと思う。</p> <p>住みたい理由として「職場に近いから」と答える人は少なくないと思う。</p>
後継者	<p>住民の心が狭い。店の老人が頑張りすぎる。世代交代しなれない。</p> <p>70代なので、先のことはわからない。店を辞めた場合には収入もなくなるので、どうしたらいいか考えている。</p> <p>商売が燃料店では後継者育成はなかなか難しい。</p>
祭り	<p>観光客誘致の為に祭礼以外によく山車が引廻されるが、国指定重要文化財に指定を受けているので、軽々しく山車を引廻すと、価値がなくなると思う。</p> <p>そのせいで一般の車が混雑し迷惑であり、市内に買い物に来たお客は駐車場がないからそのまま通過してしまう。</p> <p>観光客は自然の落ち着いた町並み風景が目的だと思う。</p> <p>お祭りや町並みだけでは過疎化していく。10年～20年後には、お祭りを維持していくことも難しい。</p> <p>お祭りも大事だが、伊能忠敬でまちづくりができないか。</p> <p>祭礼時の今現在の山車の場所がわかる様な携帯を利用したしくみがあるといい(成田で行っている)。</p> <p>町内ごとの山車や祭り商品を作る。普段でも祭りを味わえるまちづくりをする。</p>
イベントの開催	<p>色々なイベントが市内で行われているが、一時的なもの。</p> <p>空き店舗に力を入れて商店街の充実を図ることが必要だ。</p> <p>意欲を無くしている事業者をまとめるのは大変だろうか。</p> <p>イベントをやっても、ただやっているだけで何の意味もない。</p> <p>伝統景観地区内の住民のイベントを開催したらいい。(商店街組織とは別な共同体を設立する)</p>
美化・清掃	<p>美化運動が廃止になり街がきれいでない。やはり皆で一斉に掃除をする日があっても良いと思う。</p> <p>町が活性化しても汚くは意味がない。強風の後、お祭りの後は特にそう思う。</p> <p>香取市内で、カン・ビン等ゴミ捨て条例等できないか。</p> <p>小野川をもっときれいにしたい。</p>
連携・協働	<p>一部観光客相手の業種は良くても、一般の物販店は売上が減少しているのではないかと。</p> <p>各団体・グループが観光客目当てでバラバラに行動しているので、まちづくりを行う時に全商店が参加出来る様な企画が欲しい。</p> <p>店主達の協力が必要だと思う。</p> <p>各店舗なかなか意見が合わない。駅前と小野川沿いでは大きく状況が違う為、とても難しいと思う。</p> <p>行政と商店街の協力が必要。</p> <p>行政、地域、会議所、NPO等々の協力が大切。</p> <p>まちづくりだけでなく人づくりにも積極的に取り組むことが必要。</p> <p>中心市街地の要所とそれを繋ぐしくみも考える必要があると思う。</p>
各店舗の意識向上	<p>それぞれの商店街ごとに少しずつでも人を集められるように個人個人が努力する。</p> <p>各店舗のしっかりした店作りが必要。</p> <p>販売店の意識向上。</p>
その他	<p>活動している様に思えない。</p> <p>商店会が無い為、個店で努力している。</p> <p>市街地活性化基本計画は、NPO、商店会などには目を向けているが個店に対する施策は皆無で、何の基本計画か解らない。</p> <p>病院や銀行、図書館など、人の集まりやすい拠点を中心にして、周辺の農家のお客様をもう一度市街地に呼び戻す事が大事。</p> <p>また、農家の所得が増加しなければ良いお客様にはなりえないので、市街地に使う予算があるなら商品券でもいいから農家に振り分けて、もう一度街中までお買い物に来てもらう。</p> <p>空き店舗の活用・出店者の募集。</p> <p>茨城の霞ヶ浦ふれあいランド・神栖の公園など大きな公園がない。</p> <p>町内会費の支払いを拒否されているので、行政のご協力をお願いしたい。</p> <p>香取市のお米販売状況はどうなっているのか。</p> <p>個人情報の定義を説明されたい。</p>